



M→T→M

(マッチ→トレーニング→マッチ)

試合をしたらチームが強くなるとよく言われます。ある意味あたっていますが、でも、それだけではチーム力は向上しません。

試合は試し合いと読みます。練習したことがどれだけできるようになったか試し合うという意味です。

M→T→Mは、M：試しのゲームをして、課題をつかみ、T：その解決を図るために練習し、M：その成果を試し合う、という活動の基本的な流れを表す言葉です。

10・10・11(月) 南NEWS NO35

漢字練習をしない子がいくらテストを受けても漢字を自分のものにできないように、練習をいい加減にしている、めあてをもち、練習をよく休む子が試合

に出ても実りあるものはあまり期待できません。そのチームは強くなりません。そんなに甘くないのです。大会に向けて、自分のめあて、チームのめあてをもち、自分の課題を解決し(自分を育て)、チームの課題を解決する(互いに育ち合う)ことによって、目標とする大会に向けてのモチベーションも高くなり、希望を抱き、チームの意識も高くなるのです。一生懸命勉強した科目のテストが待ち遠しいのと同じですね。

移動教室から帰ってきた日の午後練に、あと30分で練習が終わるというときに参加してきた子がいます。紅白戦で素晴らしい動きをしていました。他のチームメイトにとってもいい影響を及ぼしています。指導者としても嬉しい限りです。こちらのモチベーションも上がります。

南の大半の子どもたちは一生懸命練習し、コーチのみなさんもそれに負けずに一生懸命指導しています。子どもも大人もなく、仲間です。三間を共有する仲間です。応援して下さるお家のみなさん・後援会のみなさんも仲間です。

向上心と仲間を思いやる優しさが、自分を強く鍛え、互いに学び合い、育ち合うことを可能とします。南ア・ワールドカップの侍JAPANが教えてくれています。

クラブ代表 矢上 健一

秋季リーグ A クラス 9月12日(日) 川町 G

2010年の秋季リーグの開幕です。4ブロックに入り、6チームでリーグ戦を行います。

○チームのめあて

守備

- ・すばやいアプローチを徹底する

攻撃

- ・サイドチェンジ・コンビネーション
(ワンツー、オーバーラップ、ワンツーロング)

- ・コミュニケーション(目・手・口)

以上を選手同士で決めました。



南八王子 SC 2-0 狭間 FC 前半 1-0 得点者：工藤君、加藤君

秋季リーグの1試合目です。前半開始1分、鋭い攻撃を見せます。FKをMF小澤君がすばやく右サイドに張っていたMF川窪君へ展開。DFが詰めてきますが、後ろからサポートに入ったMF横山君に落としのパス。ダイレクトでゴール前にクロスを入れます。ゴール前に二人の選手が飛び込み、ファーサイドでFW荻沢

君がヘディングシュート。惜しくも得点とはなりません。これからの試合を期待するのに十分な攻撃です。4分には横山君のミドルシュートなども飛び出します。相手のアプローチがそれほど厳しくなく、余裕を持って南の選手たちがボールをまわし、サイドチェンジをまじえてグラウンドを広く使った攻撃が見られます。12分、相手ファールで得たFKをDF工藤君が30m近いロングシュート。GKの手前で高くバウンドしたボールはそのままゴールに吸い込まれていき、先制点となります。1-0。15分、DF吉田君が前方にロングフィード。そのボールにうまく抜け出した荻沢君がシュートしますが、惜しくも追加点ならず。

後半に入り2分、FWに入った牛窪君が意表をついた左足でのシュートを放ちます。更に横山君と小澤君のワンツーや國廣君のミドルシュートなど攻撃を続けますが、南のアプローチが甘くなってきて少し中だるみ状態になります。メンバーチェンジなどで、ペースを戻すと、FW林君とMF能登君のワンツーから林君が惜しいシュート。更に17分、林君がGKと競り合ったこぼれ球をMF加藤君がシュート。無人のゴールに叩き込み2-0と突き放します。試合はこのまま2-0で初戦勝利となりました。

南八王子 SC 1-0 並木 FC 前半 0-0 得点者：末吉君

全日本の予選で対戦し、敗れているチームにリベンジです。前半3分、MF横山君のシュートをFW工藤君が拾い、角度のないところから強烈なシュート。惜しくもバーでした。その後、中盤のアプローチが甘く、相手チームに主導権を握られます。押される展開の中、DF吉田君が自陣左サイドでボールを持つと細かなボールタッチがさえわたり、3人をきれいに抜いていく見事なドリブルを見せます。ディフェンスでは相手のFWは背が高く足の速い危険な選手でしたが、ストッパーとしてマークについた中野君が密着マークで完璧に抑えきります。中野君はそんな難しい役割をこなしながら、危険を察知するとマークを捨ててカバーする、抜群のパフォーマンスを見せます！前半は攻めきれず、無得点で折り返しとなります。

後半、大幅にメンバーチェンジしますが、代わった選手が大活躍です。GKに入った牛窪君は3分の大ピンチを2度続けてビッグセーブ。特に2本目のシュートは至近距離からのものでしたが、鋭い反応、横っ飛びで防ぎます。攻撃でもFWに入った末吉君が決勝点をあげます。あと残りも5分となり、ベンチもじれてきていたところ、MF小澤君が中央で末吉君にボールにストップ回転のかかった絶妙なスルーパス。末吉君は相手マークを背負いながら体を反転させて、シュート。クリーンシュートがゴールネットを揺らします！待望の先制点が入ります。この勢いに乗り、MF能登君のシュート、MF山口君のCKからのヘディングシュートなどが飛び出し、反撃を許さずに1-0の勝利です。



2戦2勝の上々のすべり出し。1試合目はめあてにあげていたサイドチェンジが何度も見られ、広い展開ができました。コンビネーションではワンツーを使う場面が増えてきています。ワンツーからのロングパスなど、ワンツーの先の先も受けてドリブルだけでなく、様々チャレンジしましょう。鋭いアプローチはAクラスの続けている重点テーマですね。そのアプローチが甘くなったときは相手ペースになりました。もう一回、次の試合では徹底できるように意識を高めましょう。コミュニケーションはもっともっと高いレベルを目指しましょう。もっと頻繁にしゃべろう、手で指し示そう、仲間の目を観よう、合わせよう！
by 加藤 コーチ